

第6回名寄市都市計画マスタープラン見直し 及び名寄市立地適正化計画策定委員会 議事録

と き：令和元年8月30日（金） 18時～

ところ：名寄市役所 4階大会議室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 説明事項

～経過説明～

事務局から経過報告

令和元年6月26日 第5回策定委員会 都市計画マスタープラン見直し案、立地適正化計画案の4分の3程度まとまったものを報告。

7月10日 庁内検討委員会 庁内検討委員会で施策ごとに4グループを作成し、
～17日 小委員会 小委員会として意見交換をした。

7月10日 都市計画審議会 都市計画マスタープラン見直し案、立地適正化計画案の4分の3程度まとまったものを報告。

～名寄市都市計画マスタープラン見直し案について～

事務局から「名寄市都市計画マスタープラン（見直し案）」、「都市計画マスタープランの主な記述見直しについて」を用いて説明。

2008年に計画目標期間概ね20年として作成された「名寄市都市計画マスタープラン」が10年経過し、見直しの時期であることから見直しをおこなったことを説明。

①計画の変化 ⇒総合計画や関連計画、本会議で策定を進めている立地適正化計画など、計画内容に変更のあるものの見直し。

②社会環境の変化⇒更なる人口減少、建物の立地の変化から課題認識のための見直し。

③施策や事業 ⇒都市計画マスタープランに載せている施策や事業の進捗状況に合わせた見直し。

以上3点について見直しをおこなった。

今回提案した案は本委員会で承認いただいた後、都市計画審議会で議論し、市長に答申をするという流れになっている。

～名寄市立地適正化計画（検討資料）について～

事務局から「名寄市都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画策定庁内検討委員会小委員会顛末」、「名寄市立地適正化計画（素案）」を用いて説明した。

庁内課長級で構成された庁内検討委員会を施策ごとに4グループに分け、小委員会を開催した。

○小委員会の内容・意見等

教育分野

- ・図書館については平成31年2月に市民アンケートを実施した結果、街なかや南広場への建替を希望する声が多かった。小学生の声では単独建替を希望する声が多い一方で、全体では児童センターとの複合化の希望が多かった。
- ・学校については北海道の高等学校教育方針にも関わるため、市内小中学校だけの議論は、難しい面がある。
- ・中心市街地スポーツ・健康拠点の構築についての事業が進められている。

医療・福祉分野

- ・現状、地域包括支援センターが高齢者、保健センターがそれ以外の年齢を対象として保健師が分散していることは弊害の面があり、将来的には保健センターと包括支援センターの一体化によるワンストップで手続きされること完結することが望ましい。
- ・高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画では、高齢者で1人暮らしができる人を対象とした生活支援ハウスの整備を記載している。
- ・市立病院の将来的な建替を考えた時に、現在地は市内でも良いところにある、と考えている。
- ・市立病院の外来待ち時間が増えている、という課題がある。

子育て分野

- ・保育所の数、場所について現課でも検討を進めている。街なかへの配置という視点だけではなく、地域バランスに応じて配置すべき。
- ・保育所の老朽化が進んでおり、候補地選定も含めてスピード感が必要。

商業・交通・まちなか分野

- ・バスの運行状況を利用者に知らせるシステムについての方法の検討が必要。
- ・大学の学生数が増えたことから学生寮の整備が今後は必要となってくる。

これらの小委員会の意見（誘導方針・誘導施設）を立地適正化計画の素案に反映している。

○誘導方針

拠点への公共施設の再配置・複合化による市民交流の促進

- ⇒ ・老朽施設の統廃合に合わせた区域内での拠点施設整備
 - ・官民連携による施設整備

拠点での新たなビジネス展開を推進

- ⇒ ・市内の学生と企業をつなぐ就職マッチング機会の拡充
 - ・市立大学卒業生地元定着化の推進（奨学金変換支援・地元就業支度金助成の拡充・拡大）
 - ・空き家・空き店舗・空き地の斡旋や有効活用に対する補助

拠点へのアクセス向上のための公共交通の充実

- ⇒ ・ダイヤ調整等による乗り継ぎ利便の向上
 - ・施設と連携したバス待合の整備
 - ・公共交通発着時間の情報伝達の向上
 - ・利用者ニーズに即したコミュニティバスのサービス改善
 - ・拠点施設利用者へのバス運賃割引制度

設定した誘導方針・施策により目指す目標値を設定。PDCA サイクルの考え方にに基づき、概ね5年ごとに誘導施策の取り組み状況や評価指標の分析及び評価を行う。

その結果に基づき、必要に応じて立地適正化計画の見直しを行い、適切に計画を推進する。

○意見交換

- ・名寄は家賃が高いという声がある。本計画には住宅の建設の支援なども書かれていると思うが、中心市街地で建設の助成をしたとしても家賃が高ければ魅力が少なくなってしまうため、建設側だけではなく、市民が住みたいと思うような流れを作る施策が必要だと思う。
- ・学生寮が小さいと感じる。親からの仕送りも少ない学生は寮に入りたいと思う人が多いのではないかと思う。
- ・町内会で空き家や空き地について情報交換ができればいいのではと思う。空いているところに人が入る流れが作れたら良いと思う。
- ・私の住んでいる地区はあまり空き家がない。住宅街にあるものに関しては更地にして違う人が土地を買うことや、建替えることがある。
- ・空き家になったまま、所有者も分からない建物は街なかにもある。中心部にはそういった建物も多いかもしれない。
- ・相続などがはっきりしなければ、不在地主等だった場合行政側も手がつけられないのではと考える。

- ・相続をすると後始末が面倒なため、相続放棄するケースもある。

事務局から説明したことに関しては、ご承知いただいたということによりよろしくお願いいたします。

～今後のスケジュールについて～

- | | |
|-----|----------------------|
| 9月 | 都市計画審議会
市長への答申 |
| 10月 | パブリックコメント
市民向け説明会 |

4. その他

事務局から

各部門の市民の皆様に多くの時間を割いていただき、提言やご指導を賜ったこと、本日素案がほぼまとまったことに感謝申し上げたい。今後、公共施設の計画やそれぞれの施設の個別計画などの山を越えて誘導施策がしっかり形になっていくことになると思う。

6月の森アドバイザーの市民シンポジウムで「これからのまちを整体する」という言葉があった。立地適正化計画は大手術ではないが、これから必ず必要なものを適宜大事に作り上げていく計画だと考えている。そこに人が集まり、街なかを人が歩く。街の血流をよくすることで今後の街の処方箋になると思っている。皆様の期待に応えられるような計画にしていきたい。

5. 閉会